1. 教育職員免許状の授与資格 /

Conferment Qualifications of the Advanced Teaching Certificate (Written in Japanese)

博士前期課程の次の専攻では、所定の要件を満たすことにより、教育職員免許状(専修)の授与資格を取得することができます。

(1) 教育職員免許状の種類等

専攻	免許状の種類	免許教科
海洋生命資源科学専攻	高等学校教諭専修免許状	理科または水産
(#任生叩 其 /	中学校教諭専修免許状	理科
会操出 伊 <u></u>	高等学校教諭専修免許状	理科または水産
食機能保全科学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
<i>流</i> 沙沙茨 诨 r里 4	高等学校教諭専修免許状	理科または水産
海洋資源環境学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
VE VALANT TELEVISION NA TELEVISION	高等学校教諭専修免許状	理科
海洋管理政策学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
海洋システム工学専攻	高等学校教諭専修免許状	商船または工業
海運ロジスティクス専攻	高等学校教諭専修免許状	商船または工業
	高等学校教諭専修免許状	理科
食品流通安全管理専攻	中学校教諭専修免許状	理科

<u>※専修免許状の取得には、その学校種・免許教科の一種免許状を所持(見込みを含む)している必要が</u>あります。

(2) 教育職員免許状の授与資格を取得するのに必要な単位数及び対応科目

複数の免許教科に対応している「特別演習」及び「特別研究」(下線を付したもの)は、主指導教員 によって認定を受けている免許教科が異なります。 教育職員免許状の授与資格の取得を考えている学生 は、教職課程担当教員、教務課大学院係(品川地区)または越中島地区事務室教育支援係(越中島地区) から、必ず個別指導を受けて、必要な授業科目等を確認してください。

また、免許教科に指定された他専攻科目の単位も、教育職員免許状の授与資格の取得に必要な単位数に含めることができます。この場合、免許教科に指定されているか否かに関わらず、修了要件に算入可能な他専攻科目の単位数には上限があるため注意してください。

	海洋生命	冷資源	科学専攻 ※必要単	单位数 2	4 単位以上					
科目	理科 (専修)		水産(専修)							
区分	対応する研究科の授業科目(単	対応する研究科の授業科目(単位数)								
	水族分子遺伝学	2	水族発生工学	2	乗船漁業調査特別実習	2				
	魚類栄養学	2	水族感染症学	2	魚介類ゲノム科学	2				
	水族飼料学	2	水圏養殖学	2	水産生物細胞機能学	2				
	保全生態学	2	応用藻類特性学	2	水産生物分子機能学	2				
教	集団維持学		魚類生殖生理学 I	2	分子環境毒性学	2				
科	魚群制御学	2	魚類生殖生理学Ⅱ	2	水族病態生理学	2				
に	遺伝生化学 2		増殖生態学	2	微生物工学	2				
関	毒性病理学	2	資源保全学	2	生物資源学特別演習	4				
する	微生物化学	2	漁業解析学	2	生物資源学特別研究	8				
科	生物資源学特別演習	4	生産システム工学	2	水圈生物科学特別演習	4				
目目	生物資源学特別研究	8	資源動態学 I	2	水圈生物科学特別研究	8				
	水圈生物科学特別演習	4	資源動態学Ⅱ	2	海洋生物工学特別演習	4				
	水圈生物科学特別研究	8	初期生態学	2	海洋生物工学特別研究	8				
	海洋生物工学特別演習	4	比較生態学	2						
	海洋生物工学特別研究	8				İ				

	食機能保全科學	学専攻	※必要単位数 24 単位以上		
科目	理科(専修)		水産(専修)		
区分	対応する研究科の授業科目(単位	数)	対応する研究科の授業科目(単位数)		
	食品物性学	2	食品栄養機能学	2	
	高分子溶液論	2	食品保全機能化学	2	
*// r	食品微生物学	2	食品有害因子論	2	
教 科	食品危害微生物制御学	2	生物資源化学	2	
に	食品熱物質移動論	2	生体物質解析学	2	
関	食品熱工学	2	食品低温物性科学	2	
す	食品プロセス工学	2	食品冷凍工学	2	
る	食品システム分析学	2	食品加工技術論	2	
科	食品保全機能学特別演習	4	食品保全機能学特別演習	4	
目	食品保全機能学特別研究	8	食品保全機能学特別研究	8	
	食品品質設計学特別演習	4	食品品質設計学特別演習	4	
	食品品質設計学特別研究	8	<u>食</u> 品品質設計学特別研究	8	

		海	洋資源環境学専攻	<u>, </u>	※必要単位数 24 単	並位	以上	
科目	理	専修)	水産(専修)					
区分	対応する研究	授業科目(単位数)	対応する研究科の授業科目(単位数)					
	魚類生理生態学	2	沿岸環境学	2	海洋無機化学	2	海洋数理解析学	2
	魚類系統分類学	2	海洋音響計測学	2	海洋環境保全学	2	海上気象情報解析	2
	藻類系統学	2	エネルギーデバイス工学	2	生元素循環論	2	海洋底地球科学	2
	藻類形態分類学	2	先端エネルギー工学	2	生命化学	2	海洋環境機械学	2
+//-	生物環境学	2	海洋環境科学特別演習	4	有機構造解析	2	応用情報工学	2
教科	環境生態学	2	海洋環境科学特別研究	8	海底生物地球化学	2	移動体情報工学	2
イナ に	無脊椎動物系統分類学	2	海洋資源エネルギー学特別演習	4	海洋センシング技術	2	応用海洋数理工学	
関	浮遊生物生態学	2	海洋資源エネルギー学特別研究	8	海底物質科学	2	海底環境解析	2
す	海産哺乳類学	2			海洋力学	2	海底地盤・地質工学	2
る	鯨類生物学	2			沿岸海洋物理学	2	沿岸生産環境学	2
科	環境機能材料化学	2			海洋混合学	2	海洋生産環境工学	2
目	分子生物化学	2			環境情報解析学	2	海洋環境科学特別演習	4
	環境微生物学	2			情報解析応用学	2	海洋環境科学特別研究	8
	生物機能応用学	2			環境測定学	2	海洋資源エネルギー学特別演習	4
	海岸過程論	2			海洋リモートセンシング	2	海洋資源エネルギー学特別研究	8
					環境数理解析学	2		

	海洋管理政策等	学専攻	※必要単位数 24 単位以上	
科目		理科(頁	厚修)	
区分	対応す	る研究科の挖	受業科目(単位数)	
+//.	海洋 ESD 実習	1	生物資源解析学	2
教 科	海洋リテラシー論	2	沿岸域保全論	2
に	沿岸域利用政策論	2	沿岸防災保全論	2
関す	資源変動システム論	2	科学技術社会論	2
する	生態系管理学	2	海洋利用管理学特別演習	4
۵	生物資源管理学	2	海洋利用管理学特別研究	8

	海洋シ	ステム	工学専攻 ※必要単	位数 2	4 単位以上						
科目	商船(専修)		工業(専修)								
区分	対応する研究科の授業科目(単位)	対応する研究科の授業科目(単位数)									
	蒸気動力工学	2	トライボロジー学	2	オートマティクス実験	2					
	蒸気動力システム工学	2	機械応用力学	2	電子制御システム論	2					
	蒸気動力実験	2	機械応用力学実験	2	電子制御実験	2					
	内燃機関環境工学	2	機械材料学	2	大気環境計測学	2					
	内燃機関システム工学	2	機械材料実験	2	大気環境物理学	2					
	内燃機関実験	2	エネルギー変換工学	2	大気環境計測学実験	2					
教	空気調和・冷凍工学	2	エネルギーシステム工学	2	水中探査機器工学	2					
科	空気調和・冷凍工学実験	2	エネルギー変換実験	2	水中探査機器工学実験	2					
に 関	電力変換工学	2	機械システム設計学	2	水中音響工学	2					
B	電気動力実験	2	機械要素設計学	2	水中音響工学実験	2					
á	動力エネルギー工学	2	機械設計実験	2	浮体利用工学	2					
科	動力システム工学特別演習	4	物理シミュレーション学	2	浮体利用工学実験	2					
目	動力システム工学特別研究	8	物理工学実験	2	海洋機械工学特別演習	4					
			ロボットシステム制御論	2	海洋機械工学特別研究	8					
			ロボットシステム設計論	2	海洋探査・利用工学特別演習	4					
			ロボット工学実験	2	海洋探査・利用工学特別研究	8					
			制御システム設計論	2	海洋サイバネティクス特別演習	4					
			数理工学	2	海洋サイバネティクス特別研究	8					

	Ŷ	毎運	ロジスティクス専	※必要単位数 24	4 単	位以上		
科目	商	専修)	工業(専修)					
区分	対応する研究	配科の	受業科目(単位数)		対応する研究科の授業科目(単位数)			
	電波情報システム	2	海運と海洋特別セミナー	2	知識情報システム設計論	2	ロジスティクス工学	2
	航行システム演習	2	船体運動解析学	2	知識情報設計演習	2	ロジスティクス工学演習	2
	航路計画論	2	船型学	2	情報システム取引と民事責任	2	交通計画論	2
	航海情報論	2	浮体運動学	2	情報システム取引と民事責任演習	2	地域計画学演習	2
+//.	航海情報論演習	2	運航システム設計工学	2	機能安全工学	2	流通設計論	2
教科	環境解析論	2	海事英語論	2	高信頼性制御システム工学	2	流通情報システム実験	2
作 に	環境予測論	2	海洋テクノロジー学特別演習	4	海上輸送システム論	2	数理科学	2
関	環境科学演習	2	海洋テクノロジー学特別研究	8	海上輸送システム演習	2	視覚情報処理論	2
す	海洋人類学	2	環境システム工学特別演習	4	海上交通システム論	2	視覚情報処理実験	2
る	海洋人類学演習	2	環境システム工学特別研究	8	海上交通システム演習	2	応用解析	2
科	移動体通信システム	2	情報システム工学特別演習	4	航法電子工学	2	海上安全テクノロジー特別演習	4
目			情報システム工学特別研究	8	交通管制工学	2	海上安全テクノロジー特別研究	8
					国際輸送セキュリティ工学	2	流通システム工学特別演習	4
					物流貨物管理工学実験	2	流通システム工学特別研究	8
					サプライ・チェイン最適化工学	2	情報システム工学特別演習	4
					流通経営工学演習	2	情報システム工学特別研究	8

	食品流通安全管	理専攻	※必要単位数 24 単位以上								
科目	理科(専修)										
区分	対応する研究科の授業科目(単位数)										
	食品流通安全管理システム概論	1	疫学	1							
	HACCP システム I	1	食品情報管理論	1							
教	HACCP システムⅡ	1	統計的意思決定論	1							
科	食品衛生化学	1	食品流通安全管理ケース演習 I	1							
に	食品微生物要論	1	食品流通安全管理ケース演習 Ⅱ	1							
関す	農畜産物品質安全管理論	1	食品流通安全管理ケース演習V	1							
。 る	水産物品質安全管理論	1	HACCP システム演習	1							
科	食品製造での品質管理の実際	1	食品危害モニタリング法演習	1							
目	ロジスティクス総論	1	食品生産・製造地調査	1							
	食品トレーサビリティ論	1	食品流通安全管理システム研究	4							
	リスク分析論	1									

(3) 大学一括申請について

教育職員免許状の申請手続きは通常、個人で申請する必要がありますが、希望届を提出し所定の申請手数料を納付した学生については、大学が一括して東京都教育委員会へ申請します。

対象者は4月入学者のみで、10月入学者は対象外です。10月入学者及び4月入学者で大学一括申請をしなかった学生は、修了後に各自で居住地又は就職先の学校のある都道府県教育委員会に直接申請を行ってください。

4月に大学一括申請に係る説明会を行います。希望者は博士前期課程2年次に参加してください。説明会の案内は教務課教務係より教職関係の掲示板またはLive Campus に行います。